

<多面的な経営支援に向けて>

経営管理士・M&A スペシャリスト H.S 氏 (50代・神奈川県)

私は、永年、業務改革やITに関するコンサルティングに従事してまいりました。この分野の業界の構図は、会計事務所系やIT企業系のコンサルティング会社に代表されるように、多くのリソースを抱え、大企業をターゲットとし、大規模かつ長期の案件の獲得・推進に注力していく企業群と、企業規模にとらわれることなく、課題解決のために案件の大小を問わず小回りの利くコンサルティングを実施したり、専門分野に特化したコンサルティングを実施する数多くの企業群の二つの流れに分化してきています。私は、大半を前者に属するコンサルティング会社において製造業・流通業を対象に、サプライチェーン、財務会計、経営管理領域を中心に経験を積んできたのですが、前線に出る機会が限られてくるにつれ、やはり常に現場に身を置きクライアントの様々な課題解決に携われる後者のコンサルティングを指向したいと考え、4年前に独立致しました。

起業して以降、従来にも増して知識と経験の幅を広げ、人間関係を広げていく必要があると日々感じております。そんな中で、旧恩により日本経営管理学会、続いて日本経営管理協会に参加させていただく機会を得、M & A スペシャリストへの挑戦の機会も得られました。M & A のコンサルティ

ングは、私にとって未経験の分野であり、求められる会社法や会計学や税法等の知識は学生時代に学習したこととは比べ物にならないぐらいのレベルであり、難度の高い挑戦となりました。

しかし、講義でお聞きした中堅・中小企業の事業承継・組織再編成の問題がいかに重要なものであるか、その裾野がいかに広いものであるかを理解し、私のビジネスドメインを確実に広げてくれるものであると認識するに至りました。

幸いにして試験に合格することができ、経営管理士登録もさせていただき、私にとってステップアップの大きなきっかけとなったと考えております。しかし、当該分野のスキルは、まだ机上の知識にとどまっており、スタートラインに立ったばかりと言わざるを得ません。今後、着実に実践を積み重ね、業務改革やシステム構築に係るコンサルティングに加え、多面的にクライアントニーズに応えられるサービス提供につなげて参りたいと決意を新たにしております。

協会の皆様方には、何卒ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。